

光ファイバカッタ
FC-6R+
取扱説明書

安全にお使いいただくために

本製品は安全を十分考慮して設計されています。製品を安全にご使用いただくために本説明書の注意事項を熟読していただき、必ずお守りください。



この注意を守らないと、ケガの原因となったり、本製品の本来の性能を発揮できなくなったりすることがあります。

- 故障の原因となりますので、機器の分解や注油等は絶対に行わないでください。
- FC-6R+は精密機器です。叩いたり落としたりすると(強い衝撃を与えると)カット特性が損なわれる可能性があります。ケガの原因となる恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。
- 光ファイバおよび光ファイバ屑は小さく、先端は非常に鋭利です。指に刺す、目に入るとケガをする恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。作業中は安全のため、保護メガネを着用してください。
- 光ファイバ屑は専用の廃棄場所に捨て、一般のゴミとは分別してください。本製品使用後は、切り屑収納ケースを空にしてから、本体を収納ケースに収納してください。光ファイバ屑を残したままだと、輸送中にこぼれ出る可能性があります。
- 本体に取り付けられている切断刃は、鋭く尖っている部分があります。ケガの恐れがありますので素手で触らないでください。
- FC-6R+には「切断刃オートリターン」機能があります。切断後にファイバクランプ蓋を開くと、カッタスライダが自動的に前方に戻ります。切断刃やカッタスライダが指に当たらないように注意してください。
- ファイバクランプ開閉レバーや切替レバーに衝撃を与えると故障の原因となりますので、注意してください。開閉レバー部、切替レバー部の破損やカットの性能を損なう恐れがあります。
- カッタスライダを奥まで押し込み、切断刃を回転させた後に更に強く押し込むと故障の原因となります。カット機能及び特性が損なわれる可能性がありますので注意してください。
- 機器が故障した場合や異常が発生した場合には、使用を中止してください。分解や改造はせず、「保守サービス部門お問い合わせ先」にご連絡ください。

保守サービス部門お問い合わせ先
住友電工オプティフロンティア株式会社
湘南工場 お客様サービスセンター メンテナンス担当
〒253-0087 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-5-1
フリーダイヤル: 0120-853-723 e-mail: u-mainte-east@info.sei.co.jp

1. 概要

製品の概要

	FC-6R+
適用裸ファイバ径	125 μm
適用ファイバ心数	単心 (φ0.25 & 0.9mm) ~12 心テープ
ファイバ切断長	5~20mm (φ0.25mm)
	10~20mm (φ0.9mm)
	10mm (ファイバホルダ使用時)
切断ポジション	24 箇所/1周
切断刃回転機能	固定/常時回転/任意回転
切断刃リターン機能	自動
寸法	100(W) x 86(D) x 63(H) mm
質量	約 440g

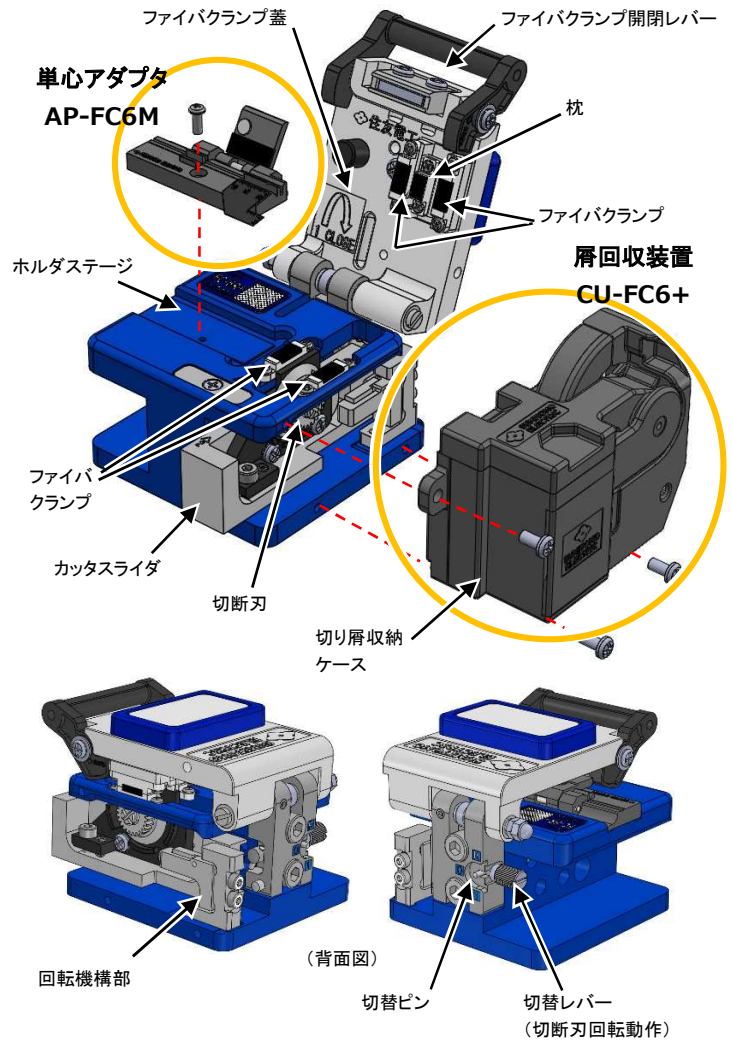
構成

構成	数量
光ファイバカッタ FC-6R+	1 台
収納ケース	1 個
屑回収装置 CU-FC6+	1 台 (カッタに固定)
単心アダプタ AP-FC6M	1 個 (カッタに固定または添付)

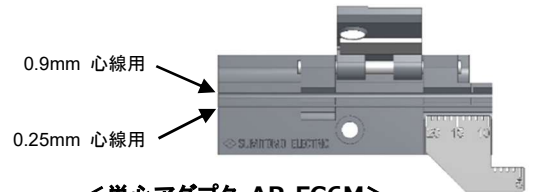
オプション品/消耗品

品種	品名
屑回収装置	CU-FC6+
単心アダプタ	AP-FC6M
交換用切断刃	FCP-20BL(7R)

2. 構造



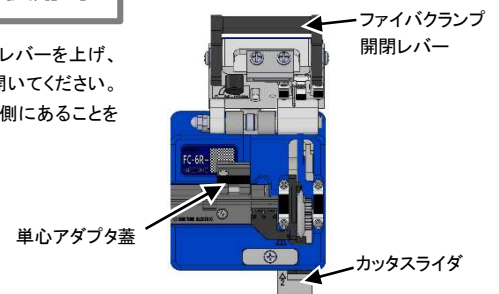
<ファイバカッタ FC-6R+>



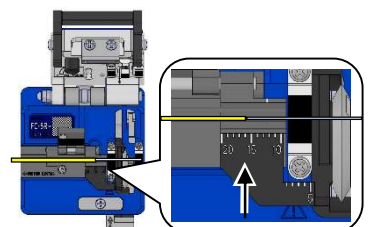
3. 操作方法

単心アダプタ使用時

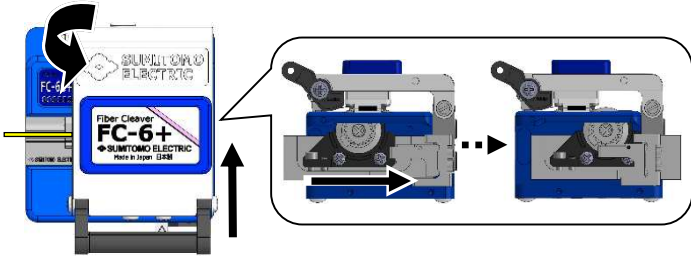
- 1: ファイバクランプ開閉レバーを上げ、単心アダプタの蓋を開いてください。カッタスライダが手前側にあることを確認してください。



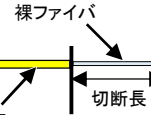
- 2: 単心アダプタの溝にファイバをセットします。被覆際の位置を適切な切断長になるよう目盛に合わせてください。(例: 切断長 16mm の場合は、被覆際を 16mm の目盛に合わせます)このとき、裸ファイバ部が真っ直ぐになっているか確認してください。



- 単心アダプタの蓋を閉じ、ファイバを固定します。
- ファイバクランプ蓋を開けてください。ファイバクランプ開閉レバーを下げます。カッタスライダを押し、ファイバを切断してください。

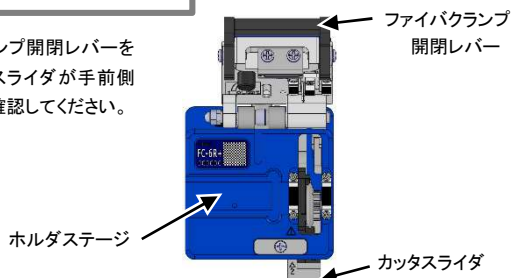


- ファイバクランプ開閉レバーを上へ上げ、ファイバクランプ蓋を開けてください。ファイバを押さえながら単心アダプタの蓋を開けます。ファイバを取り出し、切り屑を取り除いてください。(屑回収装置の装着時はファイバクランプ蓋を開けることにより、切り屑が回収されます。)切断後、カッタスライダは自動的に戻ります。(「切断刃オートリターン機能」参照)

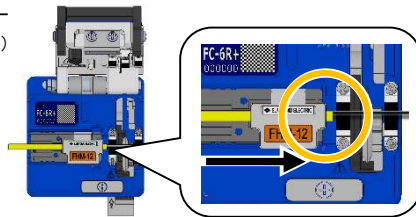


ファイバホルダ使用時

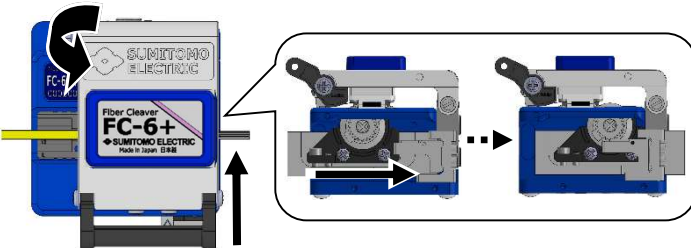
- ファイバクランプ開閉レバーを上げ、カッタスライダが手前側にあることを確認してください。



- ファイバホルダをホルダステージの奥まで(押し当てるように)セットしてください。



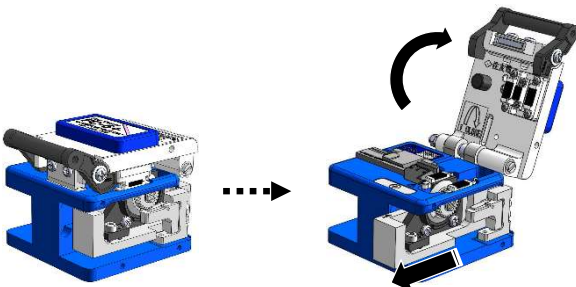
- ファイバクランプ蓋を閉めてください。ファイバクランプ開閉レバーを下げます。カッタスライダを押し、ファイバを切断してください。



- ファイバクランプ開閉レバーを上へ上げ、ファイバクランプ蓋を開けてください。ファイバを押さえながら単心アダプタの蓋を開けます。ファイバを取り出し、切り屑を取り除いてください。(屑回収装置の装着時はファイバクランプ蓋を開けることにより、切り屑が回収されます。)切断後、カッタスライダは自動的に戻ります。(「切断刃オートリターン機能」参照)

切断刃オートリターン機能

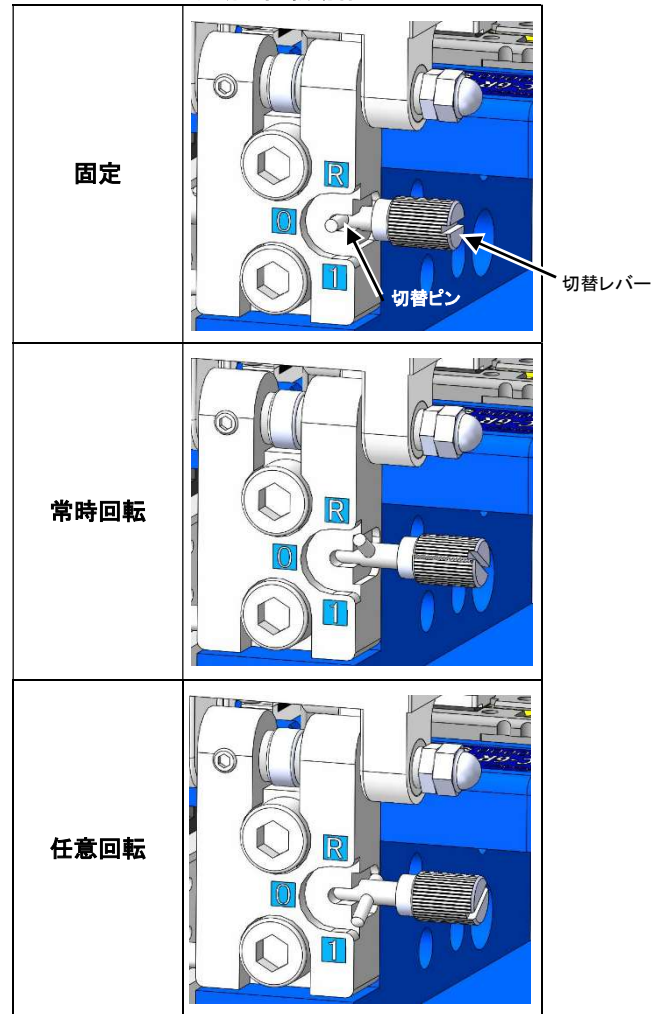
FC-6R+には切断刃オートリターン機能があります。ファイバ切断後、ファイバクランプ蓋を開けると、カッタスライダが自動的に前方に戻ります。



切断刃の回転動作切替方法

切替ピンを所定の位置へ動かすことにより、切断刃の回転動作を任意に設定することが出来ます。切断刃の回転動作は以下の3つとなります。

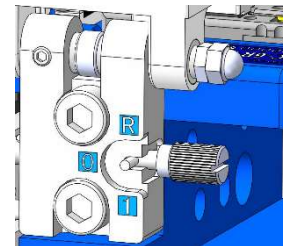
<切断刃回転動作>



0 固定 (初期状態)

切断刃は回転しません。

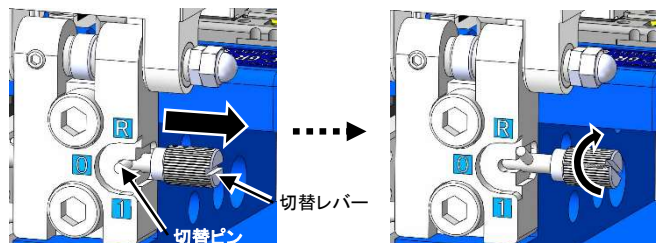
切断刃は固定され回転しません。切れなくなった場合は、切断刃を常時回転又は任意回転で回してください。回転方法は次項を参照ください。



R 常時回転

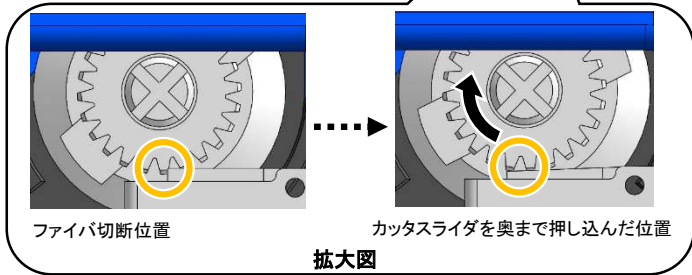
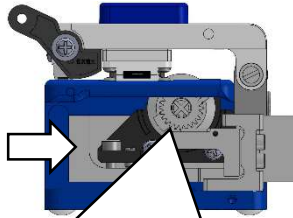
切断刃は切断動作ごとに約 15° 回転します。

- 下図の矢印に従って、切替レバーを右へ引いて上に回し、切替ピンを R に合わせます。



(3 ページ目に続く)

2. カッタスライダを押しファイバを切断後、更に奥まで押し込んでください。この動作を繰り返すごとに切断刃が毎回約15°回転します。
【常時回転】をやめたい場合は、切替ピンを0へ戻してください。



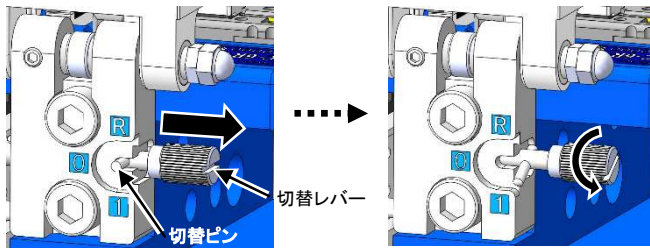
カッタスライダを奥まで押し込まないと切断刃は回転しません。

注意

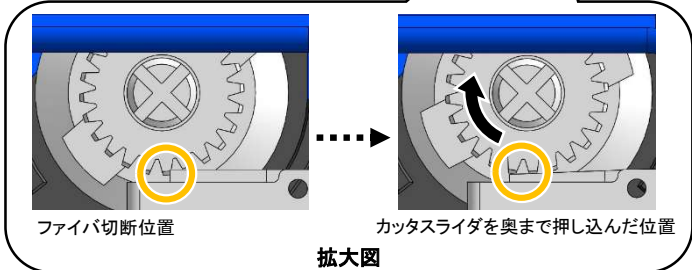
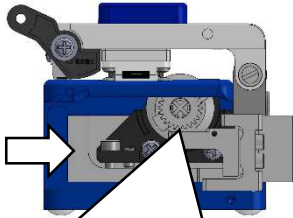
1 任意回転

切断刃を任意のタイミングで1/24回転(約15°回転)させます。回転後は【0固定】へ戻ります。

1. 下図の矢印に従って、切替レバーを右へ引いて下へ回し、切替ピンを1に合わせます。



2. カッタスライダを押しファイバを切断後、カッタスライダを更に奥まで押し込んで下さい。刃が約15°回転します。(切断刃の位置が1ポジションだけ移動します。)

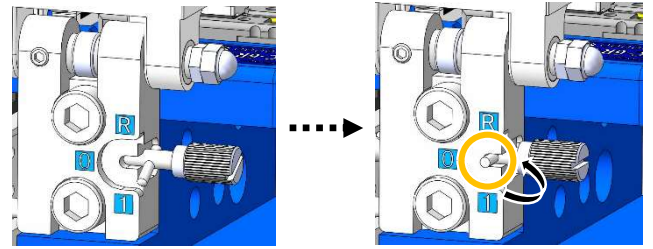


カッタスライダを奥まで押し込まないと切断刃は回転しません。

注意

(手順3に続く)

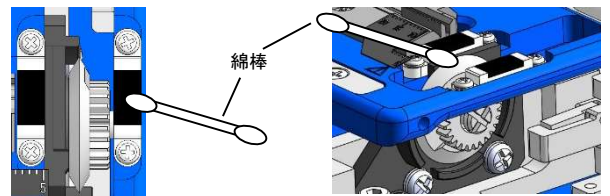
3. カッタスライダが手前へ戻ると、自動的に切替ピンは0へ戻ります。(手動で戻す必要はありません) 以後、切断刃は回転しません。



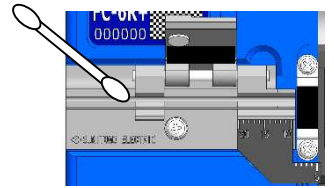
4. メンテナンス

日常清掃

光ファイバカッタの性能を維持するために、使用後は必ず清掃を行なってください。アルコールを浸した綿棒で刃先、ファイバクランプのゴム部、枕を清掃してください。



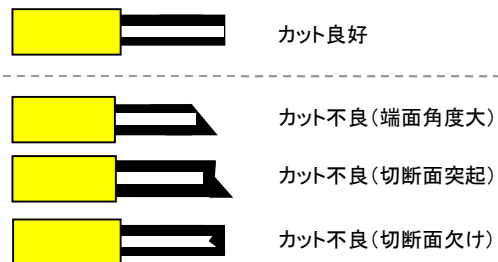
ホルダステージや単心アダプタの溝も同様に清掃してください。



注意

- ・切断刃やファイバクランプにゴミが付着していると、切断性能を損なう原因になり、良好なファイバ端面を得られない可能性があります。
- ・清掃には、アルコール以外の薬品を使用しないでください。
- ・ファイバ屑がファイバクランプのゴム部に残ったままになっていると、切断性能を損なう原因になり、良好なファイバ端面を得られない可能性があります。

トラブルシューティング



カット不良の発生は、下記の要因によって起こる可能性があります。

- (A) ファイバがカッタに真っ直ぐセットされていない。
→ファイバを真っ直ぐにセットし直してください。
- (B) 刃の高さが高すぎる。
→刃の高さ調整を行ってください。
- (C) クランプにゴミが残っている。
→クランプを清掃してください。
- (D) 刃先にゴミが付着している。
→刃を清掃してください。
- (E) ファイバにゴミが付着している。
→再度ファイバ被覆を除去し、裸ファイバ部を清掃してください。

カット不良が発生し続ける場合は、「保守サービス部門お問い合わせ先」へ連絡してください。

保守・メンテナンスのお願い



注意

刃先の欠けの発生や切れなくなった場合は切断刃の任意回転を行い、欠け部を避けて切断刃を固定してご使用下さい。操作方法につきましては3. 操作方法の「切断刃の回転動作切替方法」をご覧ください。



注意

切断刃と本体を固定するピンおよび回転機構部の取り外しは絶対に行わないで下さい。切断刃が回転しなくなったり、切断刃の高さが変わったりするため、切断性能を損なう原因になります。



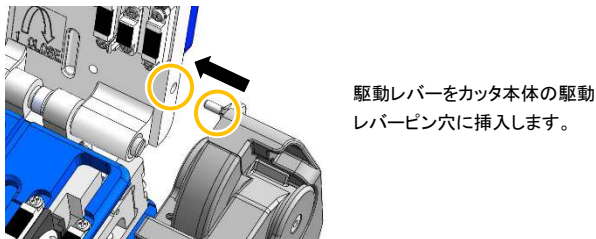
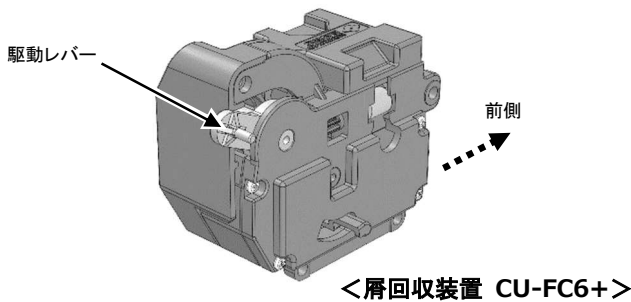
注意

FC-6R+は使用開始後1年経過、もしくは切れなくなったら点検時期です(切断刃の交換は有償対応となります)。点検時期になりましたら記載の「保守サービス部門お問い合わせ先」に返送いただくようお願い致します。

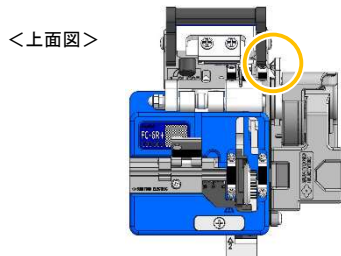
5. 屑回収装置について

屑回収装置取り付け方法

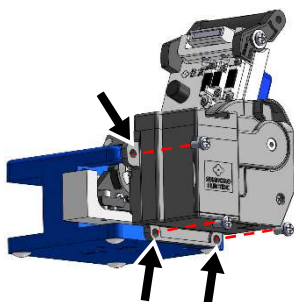
- 1: ファイバクランプ開閉レバーを十分に上げます。
- 2: 駆動レバーをカッタ本体の駆動レバーピン穴に挿入します。



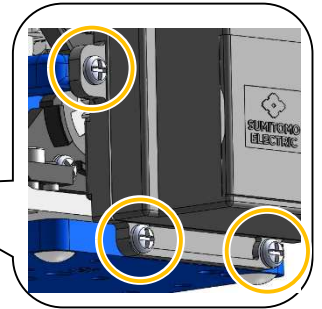
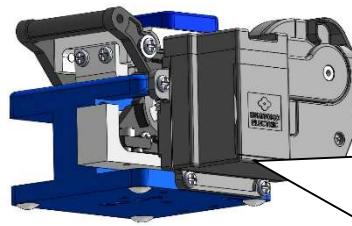
- 3: 駆動レバーがカッタ本体に適切に取り付けられているか確認してください。



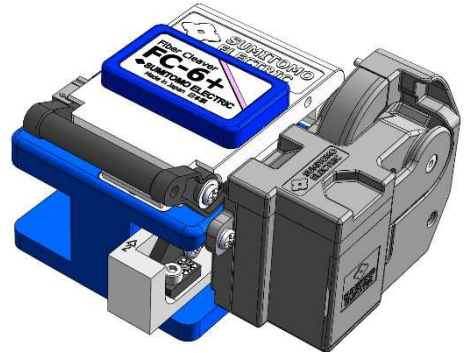
- 4: カッタ本体のネジ穴と屑回収装置の取付穴を合わせてください。



- 5: ネジを締めて固定します。ネジの締付トルクは約 40cNm です。

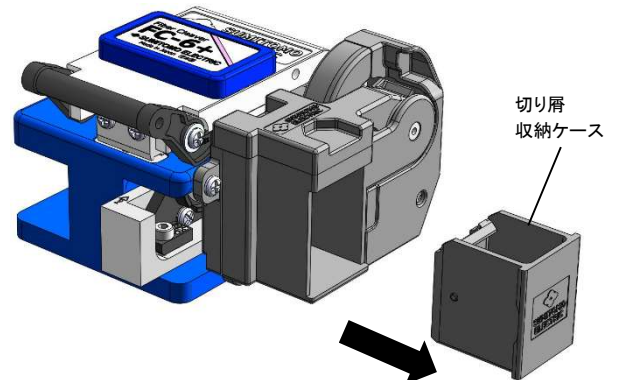


- 6: 完成です。



切り屑の廃棄方法

- 1: 切り屑収納ケースを屑回収装置から引き抜き、切り屑を適切な方法で廃棄してください。



住友電気純正品確認のお願い



注意

住友電気純正品を謳った模倣品にご注意下さい。模倣品に関する注意事項についての詳細は、以下のサイトをご覧ください。(※英語サイト)

https://global-sei.com/sumitomo-electric-splicers/counterfeit_warning/warning01.html



保守サービス部門お問い合わせ先 <http://www.optigate.jp>

住友電気オプティフロンティア株式会社
 湘南工場 お客様サービスセンター メンテナンス担当
 〒253-0087 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-5-1
 フリーダイヤル: 0120-853-723 e-mail: u-mainte-east@info.sei.co.jp